

バイエル薬品

<https://radiology.bayer.jp/>

新たな造影CT検査の可能性を考える

【主な紹介製品】

- 造影剤自動注入装置
「MEDRAD Centargo CT
インジェクションシステム」※1
- 循環器血管造影用造影剤
注入装置
「Arcatena」※2
- 線量管理システム
「Radimetrics」
(ラジメトリクス)



新しい時代の造影CT検査についての提案例



造影剤自動注入装置
「MEDRAD Centargo
CT インジェクション
システム」

CTスキャナは、高解像度イメージングや迅速なスキャン時間、低線量技術の導入などで飛躍的な進化を遂げてきた。それに伴い、造影検査においても、これまでの概念を超えた新たなアプローチが求められている。“患者さんにとってより良い造影検査”とは何か、“医療従事者にとってより理想の造影検査”とは何か。その問いを探求し続けることで、新たな可能性の扉が開かれると考えているのがバイエル薬品である。造影剤と自動注入器を取り扱う企業である同社では、放射線部門を担う医療者に、最新のCTスキャナ技術に合わせた造影方法や注入方法についてより広い視点から考えてほしいと望んでいる。

同社のブースでは、造影剤及び自動注入器の各種製品を出展。最新撮影技術に対応した新しい造影法、注入法を

提案し、医療現場の課題解決をサポートする。

◆造影剤自動注入装置

新しい時代の造影CT検査を提案

**「MEDRAD Centargo CT
インジェクションシステム」**

造影CT検査において「この検査、生理食塩水を使ったほうがよさそうなんだけれど、今充填済みの生理食塩水シリンジがないなあ」「生理食塩水の量をもう少し増やしたら検査がしやすいのだけれど、シリンジの容量以上に生理食塩水は注入できないし…」との思いを抱く放射線部門スタッフは少なくない。新しい発想で開発された「Centargo (センターゴ) CTインジェクションシステム」は、CT検査における造影剤と生理食塩水のより柔軟で自由な投与を実現。また、多くの自

動化機能で検査効率を向上させることを目指して設計されている。

◆線量管理システム

造影検査の記録業務を自動化

「Radimetrics」

「Radimetrics」は、これまで手書き等でやってきた造影検査の記録業務を自動化。業務の効率化が期待できる。また、1ヵ月間の造影検査件数の集計や、使用したプロトコルごとの検査件数の集計などが可能。例えば、注入トラブルを抽出するために、1検査で2回以上の注入を行った検査をピックアップして表示することもでき、リスク管理にも活用できる。